

**事業所名** グループホーム赤い屋根の家  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成17年 9月16日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 看護師、介護支援専門員  
資格・経験 看護師(37年以上)、介護支援専門員  
B:現職 生活指導員  
資格・経験 介護支援専門員、ホームヘルパー2級、社会福祉主事、訪問介護員

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

バス停の近くにある赤い屋根の建物である。山々に囲まれ、落着ける環境に立地していた。建物の2階部分に居室があり、個室のドアや家具は木を基調とし、家庭的な温もりが感じられる空間である。

デイサービスなどが同じ建物内にある。デイとの連携を密にしており、デイサービスの行事にも参加できるなど、社会参加により活動意欲を効果的に引き出せる環境がある。

近所には整形外科や脳神経外科があり、医療との連携も24時間体制でとれており、本人や家族の安心感が高い。

居間では、入居者の方それぞれが思い思いの過ごし方をされていた。「みんな一緒にの楽しい笑顔」「ゆっくりのんびり、出来ることは自分らしく頑張ろう」という理念が実践されており、家庭的などかな雰囲気を感じられるホームであった。

スタッフ手作りの料理は、こだわりのある家庭的な料理で、行事のお弁当も手作りとのこと。季節の新鮮な食材を用い高齢者の嗜好に合せた食事は、入居者の楽しみの1つにもなっている。

開設者は、「個々の生活を大切にしたい家庭的な雰囲気のある環境と介護運営」に力を入れている。高齢者を家族として迎え入れ、「自分の親だったらどうして欲しいか」「自分が高齢だったらそこに居たいか」を常に意識している。

入居者個々の尊厳と個性を大切に、入居者と介護者の人間性を共に活かせるようなあり方を追及している。現在の状態から出来ることを最大限に活かしながら、常に改善していくとする姿勢が感じられた。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

入居者の方々はドライブが好きで、春のお花見、夏の蓮の花、秋には紅葉など出かける機会が多くある。また、福音様やお大師様などにお参りするのが習慣になっている。充足しており、その必要がないのかもしれないが、益々向上されるために提案するならば、買い物の機会がもう少し増やせればと思う。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p><b>基本理念として</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人能力を引き出し、個々の個性を發揮し、その人らしい「生活」を送れることを目標としています。</li> <li>悲しいときは一緒に悲しみ、嬉しい時には、共に喜び、不安や寂しいときには傍らに寄り添う、そんな自然を考えます。</li> </ul> <p>を掲げ、入居者と家族の良きパートナーとなるよう努力している。人生の最後に出会った人として「あなたに会えて良かった」と思えるような介護をして行きたいと願っている。</p> <p>管理者・職員は、入居者の立場を常に自分の立場に置き換え、「自分の親だったらどうして欲しいか」「自分が高齢だったらどうして欲しいか」を念頭において、個々が自覚して支援することを重視している。</p> <p>入居者が慣れ親しんだ地域において、その人らしく生活しようとする思いに応える介護を目指している。今出来ることを一生懸命にやっていくことにより、人が自然に生きるための援助と環境作りを務めている。</p>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>2階部分がグループホームになっており、デイサービスも併設されていた。居間には電気釜や掃除機が置かれ、家庭的な雰囲気であった。職員に制服は無く、自然な感じがした。当日は、ほぼ全員が参加して食事作りに励むなど、入居者と職員が共に幸せな気分を感じられる場作りに務めている。</p> <p>その人の考えていることを否定せず、本人の趣味や生活習慣の出来ることに目を向けている。心を癒し、生活に満足できるよう、職員が入居者の要求や個別の生活ペースに合わせる支援をしている。</p> <p>入居者が不安や帰宅願望を示した時は、職員は訴えを聞くと共に、スキップも交えて入居者の気持ちの安定が得られるよう配慮するなど、その方の気持ちに寄り添う介護支援をしている。</p>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にしたい整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>管理者・職員は、入居者の過去の生活歴や楽しみなどとなっていたことこの経験の中から、入居者の出来ることに目を向けている。好きなこと、得意なことをすることによって豊かな感性を取り戻すようにし、職員と共に生活を楽しくしていけるよう気配りを行っている。貼り絵やクラフト陶芸などの作品が見られた。</p> <p>洗濯物のたたみや調理の下ごしらえなど、入居者個々の残存機能を生かし、特別なレクリエーションでなく、生活動作の中で身体機能のアップを目指していた。好印象であり、家庭的な時間の流れを感じた。無理には行わず、出来ない人はテレビを見て過ごされていた。</p> <p>プライバシーの保護としては、個人の記録は鍵のかかるところに保管されている。電話での問い合わせがある時は本人の身内などの確認を行い、さらに、本人の意見を聞いて確かめるように務めている。</p> <p>徘徊されていても徘徊とみなさず何か意図があると考え、必ず付いて歩いている。話を聞いて次の展開へとさりげなく誘導しているため、夜間などの必要時以外は玄関に鍵は要らない。</p>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>入居者一人ひとりの思いを大切にして、「何をしたいのか」「どんなことをしたら心が落ち着くのか」など、入居者の要求を理解し共有することで介護の質の向上を目指している。</p> <p>採用後の初心者研修や、継続研修を年2回行っている。スキルアップのための勉強会を月に1回行い、情報の共有に務めている。</p> <p>開設者・管理者は、研修で得た知見の研鑽に務めている。若い人の意見にも耳を傾ける姿勢を持っている。職員間で問題が起きた時は、そのままにせず話し合うことで、気づいたり認め合うゆとりが出ている。また、同一施設にあるデイサービスの職員の協力も得られる。</p> <p>現状に満足することなく、より良い介護サービスを目標としている。管理者が中心となって苦情処理窓口を入居者の家族に紹介し、高齢者を持つ家族の相談に応じている。</p> <p>事故報告書を積極的に書き、原因と対応、今後の対策を検討し、問題発生防止につなげ積極的に改善していくようとしている。</p> <p>家族会との交流を目指して絆を深め、職員と家族が協力して入居者がその人らしく生活できるよう務めている。</p>		